

サンパウロ大学 協定留学 月例報告書 (8月分)

情熱の国！サッカーの国！日本の裏側、時差-12時間のブラジルへ到着してからもう1ヶ月が経ちました。皆さんはブラジルというと何を思い浮かべるでしょうか？サッカー、サンバ、肉など色々あると思いますが、ここに来てみると知らなかつた一面も見えてきます。

現地に来てから先輩方の報告書に助けられています。私も来年度ブラジルへ留学する子のためにも内容盛りだくさんの報告書を作っていくので半年間お付き合いください☺

出発から到着までは、7月28日に成田空港から飛び立って31時間、ドバイを経由してサンパウロの Guarulhos 空港に到着しました。飛行機は空の上にいるだけで26時間、ここまでロングフライトは初めてだったので本当に大変でした。



憧れのエミレーツで旅立ちました✈

家族と離れた直後は涙が止まらず、夜の日本の街を上から見てまた号泣でした。ドバイについてすぐは「あ、本当に1人なんだ。」と涙が溢れましたが、「もうどうしようもないか自分しか頼れん」と思ったらスンと涙が引っ込み、ブラジルについてからは一度も泣いてないです。泣きたい時はちゃんと泣きます。

出発までのビザに関して、私はブラジル国籍と日本国籍の両方を持っていましたので、特別必要なものはなかったです。日本を日本パスポートで出国し、ブラジルにはブラジルパスポートで入国をする形でした。



祖母と再会しました☺

ここにきてからは感動の再会の毎日でした。私の両親はサンパウロ出身の日系ブラジル人で、私自身小さい頃からブラジル人の親戚や友達に囲まれて育ちました。2008年のリーマンショックがきっかけでみんな帰国して以来、今回約15年ぶりの再会を果たすことができました。みんな「大きくなったね」「よく来てくれたね」と歓迎してくれました。とても嬉しかったです☺

大学については、私はブラジル・サンパウロ大学（以下 USP）で勉強しています。大学ランキング南米1位を誇る教育機関で優秀な生徒さんと一緒に授業を受けることは新鮮もあり大変です。大学に初めて来て一週間は説明会や留学生同士でサンパウ

口の色々なところへお出かけし、楽しい一週間でした。意外にもアジアからの留学生は少なく、主にヨーロッパから来た学生がほとんどです。履修登録や大学期間の説明はもちろん全てポルトガル語でした。日本で少しポルトガル語を話す程度の私にとって、急に大学レベルのポルトガル語での生活を強いられることになったので大変でした。周りの留学生は私からするともうペラペラの状態だったので、これから USP へ留学を考えている方は、日常会話程度はマスターしておいた方がいいと思います。授業や学校生活については来月の報告書で詳しく書こうと思います☺



ブラジルと聞くと治安についても気になると思います。1ヶ月過ごしてみて感じたことは「気をつければ大丈夫」だということです。サンパウロは今特に治安が悪化していて、ここに住んでいる親戚やブラジル人の友達からも「今が一番危ない」と言います。

窃盗などの被害に遭わないために私が気をつけていることは、「現地人になります」「日が落ちる前には家に帰る」「スマホはなるべく出さない」などです。ブラジルはいつでもどこでも窃盗被害が起きます。友達と夜まで遊びたい気持ちをグッと堪えて早めに帰りましょう!!

どうしても夜に予定がある場合には、移動は Uber を使っています。日本でいうタクシーで、とても安いためおすすめです。ただ明らかにポルトガル語が下手だと観光客だと思われ何かしらの被害に遭うかもしれないで運転手とは会話しないことがおすすめです。

季節は日本と真反対のため、ブラジルは今真冬です。「冬って言っても日本でゆう秋くらいだら～」となっていましたが、普通に寒いです。3日前までクリスマス気分でした。寒さに凍えていたら次の日は 30 度を超え、あつついな～と思っていたら 2 日後にまたクリスマスが来ます。そういう国です。加えて日本ではありえないほど乾燥しているのであつという間に体調を崩します。寒さ対策と乾燥予防を怠らない方がいいです。



親戚や友達に助けられて今のところ毎日楽しく過ごしています。来月は USP での生活やここでの食事、独立記念日について書く予定でお楽しみに!

